

●器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

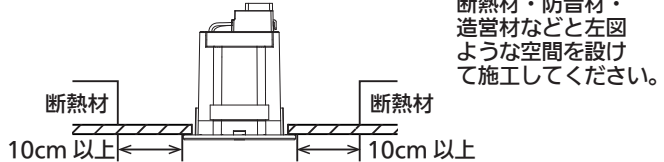
安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

- 本器の分解や改造および修理はしない。火災や感電の原因となります。
- 必ず適合負荷を最大接続以下で使用する。異常発熱や火災の原因となります。
- 施工は取扱説明書にしたがい確実にこなう。火災や感電、落下の原因となります。
- 電線は剥き代を守って、確実に差し込む。火災や感電の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取付や天井直付け及び傾斜天井には取り付けない。火災や落下の原因となります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない。本器からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない。本器からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
- 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けない。火災や感電の原因となります。
- 断熱材（防音材などの断熱効果のあるものを含む）をかぶせた状態で施工はしない。火災の原因となります。



仕様

定格電圧	AC100～242V 50/60Hz	外部入力	入力方式：無電圧a接点（DC 5V、1mA以下）
使用温度範囲	5～35℃（結露なきこと）	時計精度	月差±15秒以内
消費電力	2.5W以下	無線規格	IEEE802.11b/g/n準拠
適合インターフェース	NK51111 NK51113 (合計8台まで接続可能)	セキュリティ	ARIB STD-T66 (2.4GHz 帯) WPA2-AES
適合タブレット	設定操作用タブレット E x (同時接続最大8台)	電波の到達可能距離	障害物のない場所での水平見通し距離約30m (周囲環境により異なります。)

施工上の注意

■下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。

- ・機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ・機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ・機器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- ・金属物の壁面に機器を取り付けている。
- ・操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- ・電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が機器の2m以内にある。
- ・機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ・機器の近くで、携帯電話やPHS電話などを使用している。
- ・機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- ・近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

■到達範囲内でも電波の特性により電波が弱くなる場所がありますのでご注意ください。

■財産および商業上の損失を被る用途には、手動で照明器具の電源を操作できるようにするなど別途安全対策を講じてください。

■時計精度は月差±15秒以下ですが、定期的に時刻あわせをすることをお勧めします。（時刻あわせ方法は別途適合タブレットの取扱説明書を参照ください。）

■天井材の破損や器具ズレの原因となるので、ロックウールなどの柔らかい天井に取り付けしないでください。

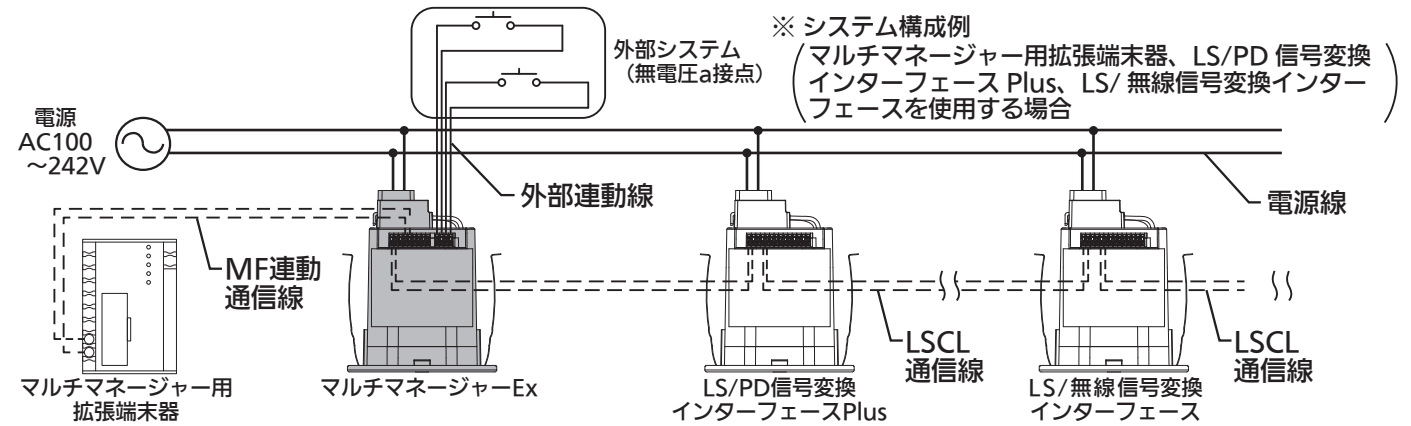
■複数のマルチマネージャーExを使用する場合、電波が干渉により誤動作する可能性がありますので3m以上の空間をあけて設置してください。

■本器はノイズ対策を実施していますが、他機器からのノイズや無線の影響により万一誤動作した時の対応として本器を個別に電源を入切できるようにブレーカまたはスイッチを設けてください。

施工前のご確認

- 取付天井の板厚は5～25mmになります。
- 本器質量（約0.4kg）に十分耐えられるよう、取付部の強度を確保してください。
- 本器に記載されているSSID、暗号化キーは適合タブレットや無線LAN中継器の設定に必要になります。複数台本器を設置する際は設置場所を施工前にメモすることをお勧めします。

配線方法（結線図）



- ・電源線、アース線はφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。
- ・LSCL通信線にはFCPEV相当φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。
- ・LSCL通信線の総配線長は600m以下にしてください。
- ・外部連動線にはFCPEV相当φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。
- ・外部連動線の総配線長は100m以下にしてください。
- ・LS/PD信号変換インターフェースPlusまたはLS/無線信号変換インターフェースの最後には必ず終端抵抗を接続してください。

施工手順

1. 天井にφ100⁺³₀mmの埋込穴をあける。

※精度良く埋込穴をあけるのにダウンライトカッターをおすすめします。

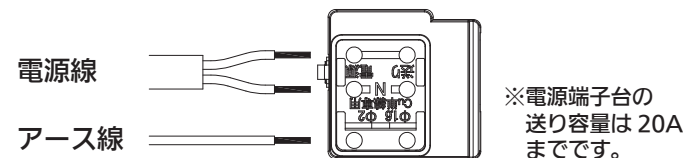
- ・不備がありますと器具落下、天井材との枠の隙間の原因となります。

2. バンドを取りはずす。

取付バネ2本を押さえながら、バンドを外してください。

3. 電源線とアース線を接続する。

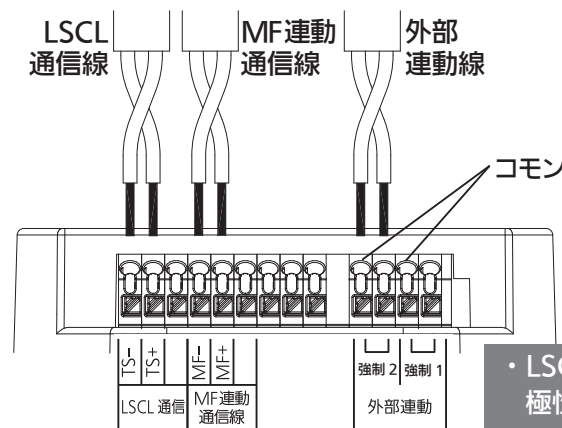
電源線を本体の電源端子台に確実に接続してください。



適合電線：φ1.6またはφ2.0銅単線 剥き代 10～14mm

4. LSCL通信線、外部連動線を接続する。

（外部連動線は必要な場合のみ）



- ・LSCL通信線、MF連動通信線には極性があります。極性を間違えないように正しく配線してください。

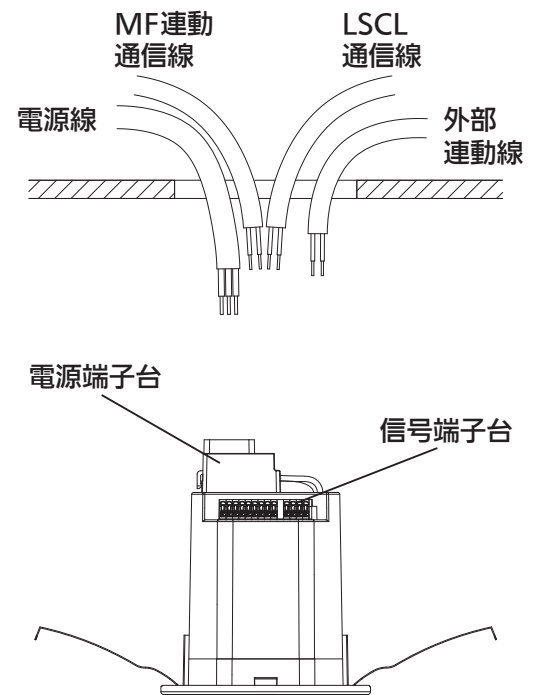
適合電線：FCPEV 相当φ0.9またはφ1.2×1ペア 剥き代 7～9mm

5. 器具を取り付ける。

取付バネ2本を押さえながら、埋込穴に押し込む。

- ・不備がありますと器具落下の原因となります。

（注）石膏ボードに取り付けた器具を取りはずす場合は天井材の破損の原因になりますので枠をゆっくり引き下げバネ2本を押し縮めながら取りはずしてください。



取扱説明

お客様へ、この説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、この説明書を大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

●本器の分解や改造および修理はしない。
火災や感電の原因となります。

●接続された照明器具を交換する際は必ず本器電源を切ってください。
感電の原因となります。

⚠ 注意

●本器には寿命があります。設置して 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 24 時間通電、年間 8760 時間通電です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1 年に 1 回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3 年に 1 回は工事店などの専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。

各部名称とはたらき

信号端子台

電源端子台

LED
通常使用では点灯しません。
(工場での検査用です。)

LSCL通信LED
LSCL通信に異常がある
場合に赤点灯します。

エラー表示LED
本器が正常に動作していない
場合に赤点灯します。

外部連動動作表示LED
外部連動動作時に緑点灯または
緑点滅します。

タブレット通信表示LED
適合タブレットと
接続時に緑点灯します。

通電表示LED
通電時に緑点灯します。

取付パネ

本体付属品

取扱説明書、終端抵抗

※本器を使用するには適合タブレットによる設定が必要です。
設定方法は適合タブレットの取扱説明書を参照ください。

外部連動の動作について

外部システムと連動した時、本器は無電圧a接点の状態により下記の動作になります。

無電圧a接点の状態		本器の動作
強制1	強制2	
OFF	OFF	スケジュール動作
ON	OFF	強制1に設定されている動作
OFF	ON	強制2に設定されている動作
ON	ON	強制1に設定されている動作

動作させ続ける際は無電圧a接点は状態を保持続けてください。
(ワンショットでは動作しません。)

※強制1、2に設定される動作は適合タブレットにより設定することができます。
詳細は適合タブレットの取扱説明書を参照ください。

MF 連動の動作について

マルチマネージャー用拡張端末器の動作は、適合タブレットにより設定することができます。
設定や詳細は、適合タブレットまたはマルチマネージャー用拡張端末器の取扱説明書を参照ください。

無線 LAN の使用上のお願い

適合タブレットまたは無線LAN中継機を接続される際には
右記の情報を用いて設定してください。
設定や詳細は適合タブレットまたは無線LAN中継機の
取扱説明書を参照ください。
※無線LANに接続できない場合は、本器の電源を切り、5秒以上時間を
あけて入れ直してください。

無線設定シール貼付位置

※右記情報は本体にも記載されています。

～無線 LAN の使用上のご注意～

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている
移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定省電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定省電力無線局が運用されていないことを
確認してください。

2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに機器の運用を
停止（電波の発射を停止）してください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの事が
起こったときは、取扱説明書巻末に記載の連絡先までお問い合わせください。

本製品には、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を
受けた無線設備を内蔵しています。

保証について

保証期間はご購入（お引き渡し）日より1年間です。
保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

ソフトウェアについて

本体のソフトウェアに含まれるオープンソースソフトウェアの著作権及び、ライセンス条件は
適合タブレットのアプリケーションに表示される「アプリ情報」から確認できます。

パナソニック株式会社

ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先

パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口

<https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441（フリーダイヤル）

【受付時間】月～土 / 9:00 ～ 18:00（祝日・三が日を除く）

※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460（FAX）

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open:9:00-17:00(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)